

SCHOOL OF BUSINESS ADMINISTRATION

経営学部のススめ

世界へ、未来へ——。2020



「グローバル経営人材」「価値創造人材」を育成する

複眼的視点をもって、ローカルからグローバル、営利から非営利にわたる幅広い経営課題を発見・解決し、新しいビジネス環境の開拓から、日常業務の価値を見いだすことに至るまで、組織体をリードできる「個」の強い人材を養成していきます。



グローバル社会に通用する力を身に付けよう



GREAT (Global Resources English Applied Track)

英語スキルと専門知識の融合

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来、海外留学や国際ビジネス分野での活躍をめざす学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養や専門知識を学びます。経営学部独自の海外短期プログラム・長期留学も積極的に利用して、自らグローバル社会への扉を開き、将来のキャリア・パスへとつなげましょう。3年次からは経営学研究科との共同設置科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。また、海外留学などを支援することを目的とした「GREAT奨学金」の制度も設けています。トラックを修了した成績優秀者にはTOEFL 試験の達成度や留学経験の有無等に応じて修了証書が授与されます。

TOEIC (入学時に実施) や英語4技能資格・検定試験のスコア上位者が対象となりますが、1年次春学期でGREATの対象にならなかった学生でも、所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATに任意で参加することができます。

※1 入学時に実施されるTOEIC®のスコア上位者に英語4技能資格・検定試験の高スコア保持者を加えた約100名が対象になります。

※2 図中のIBP、ISIBM、長期留学は応募可能な海外留学の時期を示します。なお、海外留学はGREAT修了の必須要件ではありません。



	1年次	2年次	3年次	4年次
実践的な英語スキル	「Study Skills」や「English for Business Studies I」などの科目において、4年間のGREATや正規留学に必要な英語スキルの基礎を学びます。	TOEFL & IELTS強化科目 (TOEFL Preparation, English Examsなど) ※GREAT対象者以外も履修可能		
英語による専門知識	「Global Issues」などの科目においてグローバル社会に通用する国際教養を英語で学びます。	「English for Business Studies II」や「Academic Writing II」などの科目において、より高度な英語スキルを身につけます。	1・2年次で学んだ英語スキルと専門知識をさらに発展させ、「ビジネス英語」や「ビジネス・プレゼンテーション」などの科目においてビジネスの専門分野で必要な英語スキルを学びます。	より専門的な経営・会計・公共経営学科専門科目を含む幅広い授業科目を、英語で学びます。
			経営学研究科との共同設置科目	

IBP (International Business Program)

世界への初めの一步！世界への視野を広げるきっかけに！

IBPは、経営学部独自の海外短期留学を行う実習科目で、2002年度から課外の海外語学研修としてスタートし、これまでに750名以上の経営学部生が参加しています。実習先では、英語研修、現地企業訪問、ホームステイなどを通じ日本と異なる社会や文化を体験します。英語の学習だけでなく、相手国の生活や文化、習慣を身近に体験することで国際理解を深めるねらいがあります。

正規の科目として、単位付与(計3単位)しています。生の英語に触れる機会として、また半年や1年といった海外留学を希望する方にはその足がかりとして積極的に参加することを期待しています。

2020年度予定

実習先 ▶ **Portland State University**
(アメリカ オレゴン州・ポートランド)
San Jose State University
(アメリカ カリフォルニア州・サンノゼ)

日程 ▶ ① IBP A (夏期)
サンノゼ州立大学 8月16日(日)～9月13日(日)
② IBP B (春期) 2・3月(30日前後)

ISIBM (International Summer Institute for Business Management)

カナダで学ぶビジネスマネジメントプログラム

経営学部の協定校ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部(カナダ・ヴィクトリア)にて行われる3週間のビジネスマネジメントプログラムです。経験豊かな教授陣による授業やゲストスピーカーによる講義、企業訪問、パーティー、アクティビティなどが組み込まれています。プログラム修了後、最大6単位まで卒業要件単位として認定されます。参加者の中から条件を満たした学生には補助金が支給されます。(応募者多数の場合は選考あり)

2020年度

実習先 ▶ **University of Victoria** (カナダ ブリティッシュコロンビア州・ヴィクトリア)

日程 ▶ 8月3日(月)～8月23日(日) 21日間 [プログラム日程]



学部間協定留学

海外の大学で修得した単位の一部認定も！

明治大学経営学部と交換留学の協定を締結している以下の協定校に、経営学部生が交換留学生として留学するプログラムです(学位取得を目的とした留学ではありません)。半期または通年で留学しても、諸条件を満たせば4年間で卒業することも可能です。学費は本学へ納入する必要がありますが、留学先の授業料は免除されます。

■ ヴィクトリア大学 [グスタフソン・ビジネス学部]
(カナダ・ヴィクトリア)

■ カーディフ大学 [カーディフビジネススクール]
(英国・ウェールズ)

■ ESCEM ビジネスデジタルスクール
(フランス・トゥール)

■ IPAG ビジネススクール
(フランス・パリ/ニース)

■ ソウル国立大学 [経営学部]
(韓国・ソウル)

■ 中山大学 [国際金融学院]
(中国・珠海)

■ 対外経済貿易大学 [国際商学院]
(中国・北京)

■ 香港城市大学 [商学院]
(中国・香港特別行政区)

■ IE 大学
(スペイン・セゴビア/マドリッド)

■ オスナブリュック応用科学大学 [経営管理・社会科学部]
(ドイツ・オスナブリュック)

■ ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール
(オランダ・ロッテルダム)

■ シーナカリンウィロート大学 [経済学部] [サステナビリティ研究国際学部]
(タイ・バンコク)

■ 東フィンランド大学 [社会科学・ビジネス学部]
(フィンランド・ヨエンスー/クオピオ)

Be Active!! ～海外留学単位認定制度～

学生の皆さんに海外留学を強く勧めています。海外の協定校・認定校で正規授業を履修し、単位を修得した場合、留学先での勉強内容および修得した単位数を積極的に認定する海外留学単位認定制度を設けています。

デュアルディグリー・プログラム

日本と海外の学位を両方取得できる、 計5年間のプログラム

明治大学経営学部のデュアルディグリー・プログラムは、明治大学経営学部での2.5年間、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部での2.5年間、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の両方取得できるプログラムです。学部間協定留学(1学期または1年間)よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、さらに、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部では約1年間の実務経験を積むことができる有償インターンシップに参加します。2017年度からヴィクトリア大学への派遣を開始し、2020年度にも学生を派遣します。



有償インターンシップ

有償インターンシップとは、在学中にフルタイムで給与を得ながら実務経験を積むことができる教育プログラムです。ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部に入学後、夏休み(2回)と1学期間(1回)の有償インターンシップに参加します。

i-meeting (アイ・ミーティング)

キャンパス内から異文化交流! 留学生の友達を増やそう!

i-meeting は、経営学部が行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めることをねらいとしています。2019年度は和泉キャンパスで実施し、50名以上が参加しました。



英語運用能力向上プログラム

英語プレゼンテーション大会

英語によるプレゼンテーション能力を向上させるためのプログラムで、個人、グループを問わず応募できます。テーマに沿って研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターには表彰並びに賞金を授与します。2019年度は一次審査を通過した6組の学生が発表しました。

The 8th English Presentation Contest 2019
 <Theme>
 Diversity and Inclusion in Workplace:
 Views and Solutions from Students.



英語ライティングコンテスト

グローバル社会においては、「話す」英語によるコミュニケーションと同様、「書く」英語によるコミュニケーションも必要です。英語で文章が書けること、自分の考えを英語でまとめ、説得力のある内容を発信できることが求められます。本コンテストは、800語程度の英語エッセイで競うことにより「書く」英語力の向上をめざします。2019年度は4名の学生が受賞し、賞状と副賞が贈られました。

English Writing Contest 2019

Theme

"We all want to see a better world in the future.
 Are there ways in which businesses and the business
 community can help us work towards such a goal?"

外国語検定試験による単位認定

外国語検定試験による単位認定制度を導入しています。右の表に示す各検定試験の最終到達スコアに応じて、最大4単位まで「認定科目(外国語科目)」として認定され、卒業要件単位に算入されます。

認定単位数	各検定試験の取得スコア			
	TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS™
1	680 - 725	490 - 509	57 - 63	4.5
2	730 - 775	510 - 519	64 - 67	5.0
3	780 - 825	520 - 529	68 - 70	—
4	830 -	530 -	71 -	5.5 -

※IELTSを利用した単位認定は、認定単位数が1単位、2単位、4単位の場合に限りです。 ※スコアの証明書類は申請時から遡って2年以内に受験したものに限りです。



価値を創造する力を身に付けよう



フィールドスタディ

講義だけじゃない！「現場を体感」し、「現場で学ぶ」体験型授業

フィールドスタディは、教室外でのフィールドワーク（現地調査）を通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。

まず教員と一緒に課題に対する問題意識を深めたうえで、「事前学習」で調査対象について学生自らが調べ、「フィールドワーク」において現地で資料収集を行います。「事後学習」では、それらを分析し、独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを作成します。調査対象は、企業、自治体、NPO 法人、特定地域の住民など、科目により様々です。

2020 年度は、海外型 5 プログラム、国内型 13 プログラムの開講を予定しています。本科目を履修し修了すると 2 単位が付与されます。

2020 年度 フィールドスタディテーマ一覧（予定）

テーマ	実習先（予定）	教員
様々な組織体による CSR 活動	関西方面	石津 寿恵
シリコンバレーにおけるイノベーション調査	米国（サンフランシスコを含むシリコンバレー）	大石 芳裕
住民主導のまちづくり	兵庫県（丹波篠山市）	大方 潤一郎
地方都市の地域振興政策	北海道（函館市）	折方 のぞみ
フランスの文化と社会を学ぶ	フランス（パリとその近郊都市）	折方 のぞみ
日中企業の人材育成に関する調査研究	中国（北京・上海）	郝 燕書
日中企業の人材育成に関する調査研究	国内	郝 燕書
商店街×自転車×芸術による高松市のまちづくり	香川県（高松市および周辺）	菊地 端夫
地域の潜在力を活かしたまちづくり：尾道市を中心に	広島県（尾道市）	菊地 端夫
京都企業の歴史と現状	京都府	佐々木 聡
日本における EU 企業のマネジメント	国内	清水 一之
EU 企業のマネジメント	欧州各国（ドイツ・オランダ・アイルランド等）	清水 一之
自らなりわいを創る	長野県（上田市）	中澤 高志
地方都市の現場	大分県（別府市、佐伯市）	中澤 高志
日本企業のマーケティング戦略調査	国内	原田 将
日本企業のマーケティング戦略調査	中国（上海等）	原田 将
地域中核企業の研究	山形県（天童市、酒田市）	藤江 昌嗣
地域中核企業の研究	京都府、滋賀県（大津市）	藤江 昌嗣

フィールドスタディ（実績）



「地域の潜在力を活かしたまちづくり」

実習先：広島県／尾道 ※写真は NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト、再生物件第一号通称「尾道ガウディハウス」



「中国における日系企業の人材マネジメント」

実習先：北京／上海 ※写真は花王 上海工場

グローバル・サービスラーニング（Global Service Learning）

海外で社会貢献活動を体験しよう！ ボランティア体験から生きた知識を学ぶ

グローバル・サービスラーニング（GSL）は、経営学部独自の海外サービスラーニング科目です。サービスラーニングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」（サービス）活動を通じて課題解決のための知識を習得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣の中でボランティアを経験し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決するための社会貢献活動を行います。本科目を履修し修了すると 2 単位が付与されます。

2020 年度

GSL A 実習先 ▶ ネパール・カトマンズ、ブンガマティ

GSL B 実習先 ▶ フィリピン・セブ島



フューチャースキル講座（経営総合講義A・B） [1年次開講科目]

実践的な課題で未来を掴む

フューチャースキル講座は、1年生を対象としたPBL (Project Based Learning) 型の実践授業です。授業では、実際のビジネスの現場で直面するような問題が課題として取り扱われます。受講生はチームに分かれて、課題解決の方策を考え、調べ、検討し、その結果をまとめ、プレゼンテーションします。ビジネス・シーンをリアルに体験できる授業です。

春学期開講の「経営総合講義A」では、企業の第一線で活躍するビジネスパーソンをお招きし、その業界が直面する課題に取り組みます。秋学期開講の「経営総合講義B」では、経営学の理論を使ったより発展的な課題解決型のグループワークを行います。



■ 協力企業と課題 (2019年度・経営総合講義A・B)

- 中村屋「中村屋の新人マーケティング担当者として、情報発信拠点（駅・空港他）で販売する東京土産の新商品のコンセプトとその商品を売るショップのコンセプトを作る」
- りそな銀行「りそな銀行の経営戦略（事務コスト削減と店頭CS強化の同時実現）を踏まえ、りそな銀行の営業店の10年後の将来像を企画」
- ホテルグランドパレス「受験生の宿泊プラン」販売強化」
- 共同印刷「お客様のマーケティング課題を解決する新規サービスを開発」
- 三井住友海上「1 DAY保険」を活用した「GK見守るクルマの保険（ドラレコ型）」の新規契約者を獲得するための推進策」
- プリンセスホテル「東京ベイ潮見プリンセスホテルの開業戦略」
- スクロール360「通販事業における宅配キャリアに依存する事業構造からの脱却」
- ファンケル「まだファンケルを使ったことのないお客様に向けてのプロモーション・定着化戦略の立案」

■ 講義の流れ (以下のフローを2回)

課題提示 → グループ活動 → 一次提案 (プレゼン) → グループ活動 → 最終提案 (プレゼン) → 振り返り

キャリア形成入門 [1・2年次開講科目]

自分なりのキャリアビジョンを描こう

本講義では、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。授業は各分野の経験豊かな講師陣によってオムニバス形式で展開され、キャリアプランの作成やビジネスマナーなど、一部実習形式も含んでいます。



特別講義

時代の要請に応じたテーマを学び考えよう

多彩な授業形態による特別講義を開講することにより、独自の特色のある教育を展開しています。

授業回ごとに学内外から広く識者をお招きするオムニバス形式の授業を設置しており、第一線で活躍する実務家・専門家のゲスト講師から、最新の事例や情勢について学ぶことができます。また、英語により学ぶことができる授業やプロジェクト型学習の授業も開講しています。



■ 2020年度

基礎専門特別講義A・B・C・D

- グループワークによる企業活動の実体験および実際の企業が提示する重要課題の問題解決
- グローバリゼーション再考：台頭する保護主義と日本の戦略
- 金融リテラシーとライフデザイン
- Project Based Learning
- 変貌する働き方：人生100年・AI時代の仕事と経済
- ブライダル・ホテル関連のビジネスプラン
- 日中ビジネスの最前線

会計学特別講義A・B・D

- 「会計」を理解して将来の選択肢を広げよう！
- 職業会計人になりたい人の税務基礎知識
- プロジェクト組織の管理会計～プロジェクト・マネジメント～
- 会計ルールを「読む」

経営学特別講義A・B・C・D

- 学生のための社長学
- デジタルトランスフォーメーション (DX) 時代の起業戦略
- 中小企業診断士による中小企業支援
- Skills & Strategy for Negotiation (1)
- Skills & Strategy for Negotiation (2)

公共経営学特別講義A・B

- 組織・地域を動かすマネジメント力とは：公共経営学版フューチャースキル講座
- 「自然災害」・人災から「公共性」を考える

闘える「会計力」を 身に付けよう



豊富なサポート体制で会計のプロを目指す

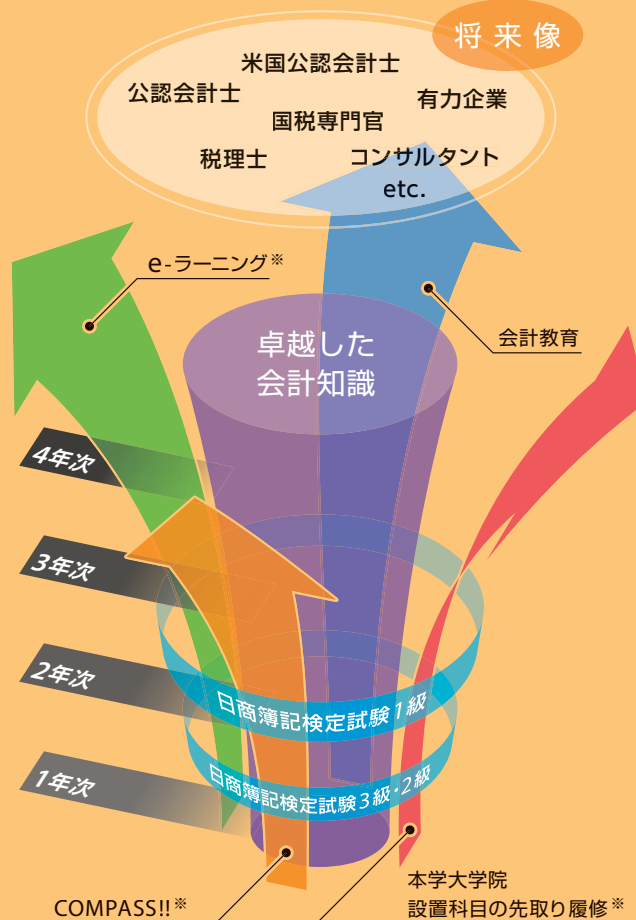
2018年度から開始した高度職業会計人養成トラック「CAP」は、公認会計士、税理士、米国公認会計士などの資格試験の在学中合格を目指す学生や、卒業後に卓越した会計の知識とスキルを武器にコンサルタントや有力企業で活躍しようとする学生のためのカリキュラムです。すでに簿記検定の資格を取得しているか否かにかかわらず、ビジネスに必須となる会計の知識とスキルを身に付けたいという学生であれば誰でも参加できます。CAPに参加し、修了要件を満たした学生には修了証書が授与されます。

CAP専用クラスは1年次から設置されており、より早くより体系的に会計の専門知識とスキルを学べます。また、個人のペースで学習できるe-ラーニング※や、学習上の悩みなどを個別に相談できるCOMPASS!!※を通じて、学生1人ひとりの目標達成をきめ細くサポートする体制が整えられています。さらに、本学経営学研究科および会計専門職研究科の大学院授業を先取り履修※することで、資格取得のみならず、実際に働き始めてから役立つ知識とスキルを理論的・実践的に学ぶこともできます。

※ e-ラーニング ― パソコンやインターネットなどのIT技術を活用した新しい教育システム。インターネット環境があれば、時間や場所を問わず自分のペースで学習することができます。

※ COMPASS!! ―― 学生からの質問・相談に会計学科所属の専任教員が個別に答える“CAP独自の安心サポート体制”。事務室へ質問や相談をするだけで、内容に適した教員から個別に助言を受けられます。

※ 先取り履修 ―― 学部在学中に本学経営学研究科および会計専門職研究科設置科目を履修できる制度。本学部設置科目で不足している専門領域を補うことができます。また、単位を取得した場合、大学院に進学した後に申請することにより大学院の単位として認められます。

A graphic featuring a large green circle with a white center. Inside the white center is a large black number '4'. To the left of the circle, the word 'SUPPORT' is written in green, bold, uppercase letters, with a horizontal green line passing through it.

未来のために挑戦しよう



資格取得

検定料助成制度があります。

TOEIC® 試験	年1回・1年次は年2回(全額助成)	2020年度試験日 11月頃
TOEFL® 試験	ITP: 年2回(全額助成)、iBT: 年1回	2020年度試験日 iBT: 4月~1月/ITP: 6月・10月
IELTS 試験	年1回	2020年度試験日 4月~1月
各種外国語検定試験	年1回(全額助成)	2020年度検定試験日 6月頃・11月頃
ドイツ語(ゲーテ・ドイツ語検定) / フランス語(実用フランス語技能検定) / 中国語(中国語検定) / ロシア語(ロシア語能力検定) / 韓国語(ハングル能力検定)		
日商簿記検定試験	年2回	2020年度検定試験日 6月・11月

『蒼樹』発行

自分の手で論文を書いてみよう！

論文やレポートの作成には論理的思考力が必要です。1・2年次に開講している「レポート・論文作成法」は、講義を通して明快な論理によって構成された文章を書く訓練ができます。4年次に提出する卒業論文制作への基礎づくりに役立つだけでなく、社会に出てからも応用可能な知の技術となります。履修学生が提出した課題論文の中で特に優れたものを集めて発行される「蒼樹」は、4月初めに1年生全員に配布され、「レポート・論文作成法」の授業でも使用されます。



『学生経営論集』発行

自分の書いた論文が、未来に残る冊子となり、未来の自分の糧となる

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。個人論文、共同論文に対し、優秀論文には5万円、佳作論文には3万円が授与されます。毎年多くの学生が、個人単位、ゼミ等のグループ単位で応募し競い合っています。昨年度は54本もの論文提出があり、入賞作品は「学生経営論集」として出版されます。



奨学金制度（学部独自運用分）

明治大学学業奨励給費奨学金

在学生の勉強意欲を高め、学業の更なる向上に資することを目的として、学業成績優秀者に対して給付します。継続して優秀な成績を修めることで4年間の授業料相当額を受給することも可能です。

GREAT 奨学金

海外留学などさらなる飛躍を支援することを目的として、GREATを履修する学生を対象に選考を行い、奨学金を給付します。

※大学全体での奨学金制度については、奨学金情報誌『ASSIST』を参照してください。

早期卒業制度

大学院進学希望者や国家試験受験者・合格者を主な対象として、優秀な成績を収めれば在学3年間で大学卒業、学士学位の取得ができる早期卒業制度を導入しています。

大学院経営学研究科授業履修の勧め

3年次以上の学生は、所定の条件を満たしていれば、大学院経営学研究科の科目を16単位を上限として履修することができます。少人数で深い学習ができるとともに、大学院進学の際には、その単位を修了要件に含めることができます。3年早期卒業制度とあわせることで、学士＋修士学位の取得が5年で可能となります。

また、大学院経営学研究科において英語で行われる授業は、大学院経営学研究科と経営学部の共同設置科目となっております。経営学部の科目として履修し修得した単位は、経営学部の卒業要件単位に算入されます。



<https://www.meiji.ac.jp/keiei/>

経営学部事務室

駿河台キャンパス

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 リバティタワー 5階
TEL: 03-3296-4194～5

和泉キャンパス

〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1 第一校舎1階
TEL: 03-5300-1151～2